

立川駐屯地内泡消火設備専用水槽について

このことについて、防衛省北関東防衛局より、下記のとおり情報提供がありましたので、お知らせします。

なお、立川飛行場周辺自治体連絡会では、下記のとおり文書要請を行っております。

記

1 情報提供内容

令和3年度に実施した、全国の防衛省・自衛隊施設における泡消火設備専用水槽の水質調査の分析結果が出ました。

これに伴い、立川駐屯地内にある3か所の泡消火設備専用水槽のうち、1か所の水槽において、PFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）及びPFOA（ペルフルオロオクタン酸）の合算値が、水環境中の暫定目標値を超える結果となりました。

今回の水質調査によりPFOS等の混入が確認された水槽水については漏出等が生じないように引き続き適切に管理するとともに、処分を進めてまいります。

（3つの水槽におけるPFOS及びPFOAの合算値）

①1.4ng/l ②1.9ng/l ③140ng/l 水環境中の暫定目標値は50ng/l

【参考】水環境中の暫定目標値は、公共用水域等に適用されるものであり、泡消火設備専用水槽に適用されるものではありません。

2 文書要請内容

(1) 要請日

令和4年8月18日（木）

(2) 要請先

北関東防衛局長

陸上自衛隊立川駐屯地司令

(3) 要請内容

別紙のとおり

立川駐屯地内泡消火設備専用水槽について

令和4年7月22日に防衛省ホームページにおいて、令和3年度に実施された全国の防衛省・自衛隊施設における泡消火設備専用水槽の水質調査の分析結果が発表されました。

この分析結果では、立川駐屯地内にある3か所の泡消火設備専用水槽のうち、1か所の水槽において、有機フッ素化合物であるPFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）及びPFOA（ペルフルオロオクタン酸）の合算値が140 ng/l であり、環境省が定めた水環境中の暫定目標値、50ng/l を超えていました。

市街地に所在する立川駐屯地におけるこうした状況は、周辺住民の不安を招くものであり、早急に解消されなければなりません。また、環境省によれば、泡消火剤を保有・使用する施設はPFOS及びPFOAなど有機フッ素化合物の排出源となる可能性があります。

よって、人体や水環境への影響が懸念されているPFOS及びPFOAの含有が認められた泡消火設備専用水槽について、次の事項が実現されますよう強く要望いたします。

- 今回、水環境中の暫定目標値を超えてPFOS及びPFOAが混入していた泡消火設備専用水槽内の水槽水は、適切な方法により速やかに処分すること。
- 上記処分までの間は、当該水槽水を使用しないこと。あわせて、水槽水が漏出することがないように管理を徹底すること。
- 原因究明を速やかに行うとともに、再発防止策を講ずること。
- 泡消火設備を設置及び使用する限りにおいて、継続して定期的に専用水槽の水質調査を行うこと。
- 以上の泡消火設備専用水槽内水槽水の処分等に関する情報は、今後、周辺自治体に速やかに提供するとともに、周辺住民への周知を丁寧に行うこと。

令和4年8月18日

北関東防衛局長 扇谷 治 殿
陸上自衛隊立川駐屯地司令 木戸口 和彦 殿

立川飛行場周辺自治体連絡会構成市長

立川市長 清水庄平
昭島市長 白井伸介
小平市長 小林洋子
日野市長 大坪冬彦
国分寺市長 井澤邦夫
国立市長 永見理夫
東大和市長 尾崎保夫
武蔵村山市長 山崎泰大

幹事 立川市長 清水庄平